

【めむろ未来ミーティング】

平成 31 年 4 月 19 日(金)

14:40～15:45

芽室町消費者協会

- 参加者 38 人
- 芽室町 町長
- 記録 矢野

■対応等必要事項

- ①木質ペレット製造等の件（企画財政課）
- ②公立芽室病院見える化の件（公立芽室病院）
- ③文化芸術鑑賞の件（社会教育課）

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 質問事項の回答
- 4 意見交換

【意見】

私はペレットストーブを使っているが、昨年末くらいに、芽室町ではもうペレットを作らないということになり、この先どうすれば良いのかと困っている。我が家以外にも、ペレットストーブを購入した家庭はいると思うが、今後の方向性などについて、町は考えているのか。また、今後の廃材の活用についてもどう考えているのかお聞きしたい。

【町長】

誤解されておられると大変申し訳ないが、木を原料とした木質ペレットについては、シニアワークセンターで作っているが販売することは今年度から止ることになった。

昨年 12 月に止めたと言ったのは、農業用の長い

ものつるネットといって、ビニールやプラスチックを使った物を活用したペレットづくりの方である。こちらに関しては、公共施設などに使えないかという研究をしていたが、費用対効果などの問題により断念した。

【意見】

シニアワークセンターは、今あるだけで、今後はもう木質ペレットを作らないので購入は出来ませんという風に言われているのだが、他で購入できる場所を見つけなければいけないのか。重いペレットを配達してくれて非常に便利だった①。

【意見】

3 月につるネット関係が新聞に出た時点で、シニアワークセンターの担当からそのような報告を受けた。自分たちで使用する分は製造するが、一般家庭に卸す分の製造はしないそうで、販売についても、今ある限りとのことであった。

【町長】

シニアワークセンターの件については了解した。この件に関してはしっかり確認をさせて頂くということと、また、今後の買い先に関しても調査する①。

【意見】

錦町内会の立場からの意見。地域担当職員が 2 名体制ということで、確かにこれは良いことだと感じる。また、この間、私どもの町内の総会があり、それに対して回答を頂いたこと、有り難く思う。

ただ、防災害関係でよく避難訓練などをやるが、その時に地域担当の職員さんが一緒に参加してくれれば良いと思う。しかし、恐らく職員さんのことなので、災害時は他の現場に行く可能性もあるわけで、その辺りの仕組みはどうなっているのか。

極力、各町内会から地域担当がその町内会のほうに参加してくれるようになっているのか？結構、そういういった避難訓練などは、やはり自分で歩いてもらったりして欲しいし、また、どういう訓練が良いのか、その辺りもちゃんと考えて貰いたい。

【町長】

災害が起きた時は、役場職員というのは、町内会に張り付くことにはならない。災害対策本部含めてそちらに行くので、災害の規模にもよるが、実際にそうした事態が起きた時にまず地域担当が行くのは難しいというお答えになる。

ただ、訓練については、お手伝いというのもそうだし、実際に町内会さんがどういう風に行われているか把握することは必要だと思うので、活動の中の一つには入って来ると私は思っている。よって、是非呼びかけもして頂きたいと思うし、それに応じる形にはなると思う。

まとめると、訓練と実際の災害時とは分けて考えて頂いて、言われたような避難訓練にお呼び頂くことについては構わない。

【意見】

今の話に関連して。最近、防災マップが配布されたのだが、地図が小さくて、とても読むことができない。あれはどうにかならないものか。

【町長】

表が避難指示とか3段になったものでA3サイズ。確かに、小さくて自分の家もどこにあるか分かりづらい感じはする。

【意見】

大きい形で再度配布を願いたい。

【町長】

配布したばかりということで、申し訳ないが今回すぐに再配布をすることは難しい。

しかし、ただ今頂いたご意見を参考に、今後の発行の際は、サイズ等の検討を行いたい。

【意見】

消費者協会の活動の中で感じたこと。
今回の、運営方針事業計画の中でも、SDGs（エスディージーズ）という言葉を受けて、持続可能な開発

目標、つくる責任、つかう責任ということは、物を減らす、食品ロスとかごみを減らしたいということを言葉にしているもの。

活動の中で、「ウインクリン」の見学に行ったのだが、ペットボトルの消費が非常に多くなっているとの話を聞き、「ペットボトルを気軽に買ってしまうけど、どんどんゴミを増やしていく原因なんだな」ということを感じた。

しかし、「クリーンアクションめむろ」等でも、ごみを減らそうと言いながら、ペットボトルの飲料を配っており、こうした活動の上でごみを増やしてしまっているのは正直どうかと感じる。

今すぐ廃止してなどと言うつもりはないが、そういう風にして少しづつごみが増えているという現状は、皆さんに意識して頂きたいし、一人ひとりがそうしたこと自覚していく芽室町になるといいなと思っている。

【町長】

確かに、意識はもう少し持って貰わないとならないというのは感じるし、SDGsは、やはり今世界的に最も重要な考え方だと思っているので、そこから紐解いて町で何ができるかという所は色々あるが、実は議会の一般質問や何かでもそうしたご質問を頂いたりしているので、しっかりそこは頭に入れながら、意識してごみを減らすことに努めていかなければならぬ。

加えて、ポイ捨てに関しても物凄い量であり、今日のちょうど今頃だと思うが、白樺学園の野球部が、北伏古に上がって行く場所、非常にペットボトル等の不法投棄が多い所なのだが、監督のご提案で、ごみ拾いをやって頂いている。部員さん全てが町民という訳ではないが、こうした活動を、町民自らが行っていくということも大事だと感じる。

もう1つは、モラルをしっかりと守ってもらうということ。マスコミも今回入ってもらっているので、こうして高校生たちにごみ拾いをさせるような大人のモラルはどうなんだということを、取り上げてほしいことは伝えている。勿論それで全てが解決するわけではないが、そういう意識付けというのは、私

としても大切と感じるので、PR も含めてやりたいと思っている。

【意見】

今の質問に関連して。学校給食で食品ロスが出ているというような話をよく聞くが、ここ芽室町では、そうした給食の残りなどを何かに活用しているのか？

【町長】

給食の残渣については、ご存知ない方が多いかも知れないが、嵐山の裏側に、残滓処理施設といって、農作物を荒らす有害鳥獣を捕獲して処理するための施設がある。専門的な話になるが、S-pas(エスパス)菌といふものに土や木の葉を混ぜ、中に死体を入れておくことで分解、処理できるという仕組み。この S-pas 菌が生きるために、残渣などの生ものが必要であり、そのために学校給食や病院で出ている残渣を使っている。給食はこうした形で再活用しているというのがお答えになる。

【意見】

私は芽室に住んで 15 年ほどになるが、道路が悪いというのを感じる。例えば、東 2 条の南側は、車道も歩道も悪い。特に車道は、雨が降ると水たまりが出来て、車で走ると歩いている人に水がかかってしまう。また、谷口自工の南側の通路というか、会館（弥生福祉館）の前。あそこは去年一部舗装したが、あと残り半分くらいは舗装されていないままであり、どうしてそのように中途半端なやり方をするのかお聞きしたい。

【町長】

私どもの建設都市整備課も町内の道路のパトロールも勿論行っているし、今仰ったような、道路に対するお声も多い。

しかし、その数というのが非常に多いため、町としては予算の中で優先度を決めて計画化し、順番に対処しているというのが実態である。よって、まだ正確にはお答えできないが、ご指摘の弥生福祉館の

前についても、計画的に、今年の予算の中ではこれくらいまでしか舗装できない、次の年はここまでやる、というようになっている可能性はある。理由としては、総体の予算枠の中で、この道だけをいきなり一本やってしまうと、他の緊急性の高い地域が出来なくなってしまうためである。

また、近年は農村部でも結構道の悪い場所が出て来ており、こちらの対処も必要である。農村部の道は大きい車が多く走るため、どうしてもゆがみやへこみが多くなってしまう。

今述べたように、舗装に取り組む優先度というものはあるが、今のようなご意見は、是非私や建設都市整備課に伝えてほしい。

【意見】

こうした優先度があるというのは分かるが、その地域に徹底的に 2 年くらいかけてやってくれるということはできないのか？ 中途半端にやっているようでは、我々としても町は何をやっているんだ、本当にきちんと対応してくれるのだろうか、と不満に感じてしまう。

【町長】

該当箇所のような悪い状態の道路は、町内には非常に多いため、同じような優先度の中、どのようにやって行くか考えなければいけない状況にある。また、お金にも限りがあり、特に国や道の補助金がほとんどないため、町だけのお金でやらなければならない。従って、どうしても一気にやることは困難だという事情をご理解頂きたい。こうしたご要望だけは、記録に残してしっかり対処していく。

特に穴が大きく、車が落ちて困る所であったり、事故の危険などのある場所に関しては、緊急に対応したいと思っている。

【意見】

公立芽室病院について。自分なりに、色々な人と意見交換をした中で感じたのは、申し訳ないが内部の意識改革というのが絶対的に必要ということ。

もう 1 つは、住民の病院に対する意識というもの

もちょっとずれているということ。専門のコンサルの方が入るという件や、在宅医療の話も耳にした。そうしたことや住民との意見交換も含めて、今後病院の経営を立て直していく中でもう少し「見える化」を図って頂きたい。住民のニーズなどしっかり見定めて欲しい②。

現在、経営に関しても、「責任者」というものが明確に見えてこないように感じる。最終的には院長、町長なのだろうが、ただ、実際に運営している中で、各々の事柄に、誰が責任を持って対応しているのかということが見えてこず、組織が二分化・三分化されている（情報共有・意思疎通がうまくできていない？）ような印象を受ける。

病院の問題に対して、すごく前向きに取り組んで頂いているというのは感じているし、大変な問題であると思うが、その経過についても「見える化」を図って進めて頂きたいと思う②。よろしくお願ひしたい。

【町長】

他の地域における未来ミーティングでも、ほぼ 100% この問題（病院経営）についての意見が出ており、町長はどういう風に考えているのか、ということも聞かれる。

今回、色々タイミングも重なり歯科がなくなったり、産婦人科の休止、小児科医も 1 人減とマイナス面ばかりが見えている部分はあるが端的に言うと、この公立芽室病院の役割というものをいかに整理するかがまず大事だと思っている。

現在、大きな方向としては、やはり在宅医療や、検診、予防医療など、地域の人々のためのセーフティネット、最後の砦として必要な公立の病院でなければならないと思っている。

こういうことを言うと、公立芽室病院に専門的な部門は要らないのかと批判されるかも知れないが、やはり、今こういった状況になっていること、さらに帯広市と隣接しているという立地条件も考えると、一定程度しっかりと役割分担をしなければならないと考えている。

専門的な科に関しては、現在帯広でもたくさん開

業などされているので、そういう所をある程度利用して頂くことも必要となってくるのかなと思う。あるいは、大病に関しては厚生病院なども新しくなり、設備も揃っているということで、申し訳ないが、大規模病院に行って頂くことも必要になる。けれども、地域の病院としてしっかり根付いていくような考え方を公立芽室病院は持たなければいかない。

在宅医療などは経営的にあまりプラスにならず、端的に言うと、外科手術などの大きいものをどんどんやれば収入は大きいが、赤字だからといって公立芽室病院としての役割を無視してそうした方針をとることはしない。

また、よく「民間に経営を任せてはどうか」とのご意見も頂くがその予定もない。理由としては、民間は収支が取れなくなればすぐに引き揚げてしまう可能性があり、そうなれば地域に医療施設がなくなってしまうこととなるため。実際に、石狩管内の当別町ではこういった事態が起き、町民の皆さんはわざわざ遠い病院に足を運ばなければいけなくなった例もある。ましてや、救急車で運ばれる第一次的な病院も無くなってしまう訳で、そうしたことを考えると、民間に任せることのリスクはかなり大きい。勿論、町としても公立芽室病院の経営を回復させたいとは思っているが、皆さんに申し上げたいのは、やはり少し時間を頂いて、財源投入もしなければいけない部分はあるということ。

現状は、お蔭さまで内科医も 4 月から 1 人内科医もプラスになり、また赤字額の大きかった産科の休診により V 字とまではいかなくとも、少しづつ回復していくことが予想される。よって、この令和元年の決算を見つつ色々判断していかなくてはならないと思っている。そのために現在、病院も頑張っており、アクションプラン 15 という 15 の方策を出している。これには今言わたったようなコンサルの件や医師確保の問題も含まれており、私の考えとしては、そういった改革の度合を今は見させて頂きたいという状況。

ただ、「見える」化、すなわち町民に対して、そのことを、中間報告も含めて開示、公表していかなけ

ればならないとは思っている。段階的に色々変えていくので、その都度情報提供だけはしっかりやっていく。

【意見】

要望。年間でどのような役場に対してどういう苦情があつて、どういう形で対処しているのか、一度全体として開示して頂きたい。

【町長】

苦情については数が多く、また色々な形で寄せられている。例えば、今回のような未来ミーティングで頂いた意見・要望に関してはすべて記録をとっており、その中でまず要望なのか、ご意見なのかを整理している。

次に、早急に対応できるものなのか、時間がかかるものなのかを分類した上で、文書で整理してその方にお返しする時もあるし、あるいは、担当課から、長期的な課題になるためもう少し時間がかかるとの旨などを連絡という形をとることもある。

また、町としてはホットボイスという、広報誌に入っているはがきで意見を寄せて頂くというシステムも設置しており、こちらは誹謗中傷も多いものの、前向きなご意見も沢山頂いており、それについての回答はしっかりと行っている。

例えば街灯の明かりが切れている、との通報。すぐに対応できるものに関しては、ホットボイス云々ではなく、すぐに担当課が現地に向かって対応するという仕組みになっている。

ただ、仰るように、確かに意見がどういう風に流れていっているかということを皆さんにお知らせすることは必要だと感じる。

【意見】

苦情の中では一番、どういったものが多いのか。

【町長】

その時期による。例えば、雪の時期だと除雪に関する要望・苦情が非常に多く、ちょうど今であれば病院に関する意見が多い。先程出た道路の話題につ

いても、特に春先は、凍結が緩んでぐちゃぐちゃになってくるのでそれに関することが多い。

その一方で、町に対してお褒めの言葉を頂くこともあり、そうしたことは非常に嬉しく感じている。

【意見】

そういう意見を全て開示してくれればよいのではないかと思う。

【町長】

現在、広報誌にもいくつかのホットボイスは出させて頂いているが、誌面の都合で全部は出すことにならないし、褒められたことだけを載せるとそれはそれで問題があるので、町民の皆さんのがん心がありそうな話題を選ぶなどバランスをとって載せている。

【意見】

日本ハムファイターズとのパートナー協定を始めとして、町が今までにない取り組みをされていることに対しては、非常に楽しみに感じるが、スポーツだけでなく、文化的な面でも、一流でなくともよいが、例えば、十勝でピアノや歌を教えている身近な方のコンサート、あるいはダンス、寄席などでも、それらを地元で味わうことの出来る機会を増やして頂ければと感じる。

情報社会の中で、やはり本物を見て感動するというのは心を豊かにするとと思う。芽室の中央公民館は、音更や幕別より規模は小さいが、色々なことが出来るのではないか。今回、広報誌すまいる4月号を読んでいたところ、文化芸術鑑賞会の実行委員会というものがあることを知ったが、きっとそういったところで今後のことを企画されていると思う。現在、皆さん、子どもから大人まで多趣味だと思うので、そうした方々の声を聞いた上で今後どのようなことをやっていくか考えて欲しい。

そこで質問だが、このような実行委員会などに対して、今後こういった企画をやって欲しい、というような意見を言えるような場所というのはあるのか？③

【町長】

日ハムのことを含め、どうしてもスポーツのことばかりではないかという印象は皆さん抱かれているが、私としてはむしろ逆で、文化・芸術面を何とかしたいという意識が強い。

今言われた実行委員会は、これまで開催のためのお手伝いだけをして頂いたような感じであったが、今度は企画から全部やって頂くような組織になっていく。前向きな方が多いと私も聞いているので、そうした企画の中で、仰ったように、機会・回数を増やしていくことも重要だと思うし、あるいは文化において一流の所も年 1 回は呼ぶということも考えねばならない。子ども達が色々な経験をして、芽室への郷土愛を持ってくれる、あるいは、芽室に戻って来なくとも、豊かな感性を持った立派な社会人になれるように教育していくことが大切だと感じているので、私としてもそうした機会は増やしたい所。

ご質問の、意見を言える場所に関しては、今後、どういった仕組みでやっていくかということを整理していくので、社会教育課の方にも伝えておく。

ちなみに、今年は「ドラえもん」の映画監督をやっていた方をお呼びすることと、来年度以降については、まだ交渉の段階であり、来るかどうかは分からぬが、劇団四季や札響なども計画している。

ただ、やはり会場のキャパがあるので、例えば札響についても全部を呼ぶという形ではなく、一部に来て頂く形や、少ないキャストで出来る劇という形にはなるとは思う。いずれにしても、町民が文化芸術に触れる回数を増やすことができるよう努めていきたい。

15:45 終了

